

十和支所管内より



### ニワトリのためにー

わらびがわ こうきち  
藤川 幸吉さん(78)

ダイコンの葉だけ収穫しています。ダイコンは花を咲かせてしまうとスが入ってしまいますが、葉を刈り取っておくとしばらくは掘らずに畑に置いておけます。

葉を束ねてどうするかって？ 米と混ぜて、ニワトリのエサにするんですよ。兄が10羽以上ニワトリを飼っています。

西土佐支所管内より



### チクワを待ってるよ〜

なし 梨 ぶん太くん(7)

僕はチクワが大好き。地元では有名で、ご近所さんからもらうこともしばしばだよ。人懐こい性格で誰にでも尻尾を振るから、僕に会ったら怖がらずにチクワをよろしくね。

生まれも育ちも西土佐だよ。散歩も大好きで、ご主人とは朝と晩、毎日2時間は散歩するんだ。今日の散歩も楽しみ♪

幡豆地区

# から こんにちは 今月の 気になる人

大月支所管内より



### ナバナの収穫真っ最中

にしもり よしえ  
西森 芳枝さん(71)

ナバナを収穫しています。今年は暖冬なので、2月半ばで収穫が終わる見込みです。消毒が必要ないのがナバナの魅力です。夏はシシトウを栽培していますよ。

昨年は初めてサトイモを植えました。少し小さめでしたが、年明けに無事に出荷できました。お小遣い稼ぎですね。

大方支所管内より



### 明るく優しい大人になってね

むろ い まこと  
室井 誠さん(42)  
はれ 晴くん(1)

雨が上がって良い天気になりましたね。息子の名前は、晴れた青空のように明るく、皆を照らすような優しい大人に育ててほしいと願って名付けました。

私は5人きょうだいですが、私以外は全員県外で暮らしています。両親には初めての内孫なので可愛がってもらっています。

西土佐支所管内より



### ナバナの収穫終盤です

すぎもと あきら  
杉本 晃さん(78)

建設会社を退職して20年ほどになります。少しの面積ですが、妻と2人で冬はナバナ、夏はオクラを作っています。

ナバナはもう終わりかけで、そろそろ畑を叩きます。今年は暖冬のせいか、残念ながら品質がよくありませんでした。全て束で出荷していますよ。

中村支所管内より



### 野菜は鮮度が一番!

こんどう ひでよ  
近藤 秀代さん(70)

野菜は鮮度が命ですね。まだ家庭菜園を始めて2、3年ですが、菜園から採れたばかりの野菜はどれもおいしいです。今年はダイコンが上出来でしたよ。

ナバナのおいしい食べ方ですか？ 私は湯通しして水にさらし、ダシ汁と卵とじにする料理が好きです。味噌汁にも入れますよ。

# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



幡多地区露地生姜部の初代部員の皆さん

## 1 地区本部

### 露地生姜部が発足 水稻に代わる有望品目に一

水稻に代わる有望品目として露地シヨウガに着目していた幡多地区は2月27日、地区本部で露地生姜部の設立総会を開きました。地区内の3市2町1村の18戸(団体含む)が、4月から計132アールで作付けします。同部は栽培講習会や現地検討会をほぼ毎月開くことで、栽培技術の向上と所得増大を目指します。

地区内では施設シヨウガの出荷はありますが、露地シヨウガは初めて。JAは昨年、若手の露地農家を中心に栽培を呼びかけると共に、出荷先に県内のシヨウガ専門の加工業者を選びました。農家は土付きで出荷できるため洗浄機が不要で、新規参入がしやすいメリットがあります。出荷先によると、管内の作付面積は20ヘクタールまで拡大できます。

露地生姜部の初代役員には、部長に四万十市の沢田竜祐さん、副部長に宿毛市の岡井宏文さんと四万十町の(一社)しまんと農薬里さんが就任しました。

現在、宿毛支所の予冷库で種シヨウガを保管しています。4月に定植し、順調に生育すれば11月に収穫できる予定です。



配布された土壌改良材「四万十ゆずくん」

## 2 西土佐支所

### 「四万十ゆずくん」配布 ユズ農家に土壌改良材を還元

西土佐支所が加工する土壌改良材「四万十ゆずくん」の配布が2月から始まりました。搾汁用ユズの出荷量に応じた農家への還元で、中旬までに四万十市と四万十町、黒潮町のユズ農家174戸に、計740袋を配布しました。

「四万十ゆずくん」は1袋40ℓ入りで、ユズの皮と種を原料に燻炭化したものです。土壌の通気性を高める効果があり、ユズの園地には2月中に施すのがベスト。ユズ以外の作物にも使うことができます。JAは、搾汁用ユズの残渣処理による環境汚染の防止と生産性の向上を目的に、平成13年度に加工施設を整備しました。ユズ農家への配布量は、燻炭の出来高や搾汁用ユズの出荷量によって毎年変動します。同支所は1袋432円で一般販売もしていますが、今年度は既に完売しました。「土壌に施用すると殺菌効果があるのか、病気にかかりにくい」と、利用者に好評です。

同支所ユズ搾汁施設は今年度約588tを受け入れました。果汁はJAが開発した調味料「ゆず塩だれ」などの加工用に使われています。

## 3 大方支所

### 特産柑橘せとか出荷出番



今年は大玉傾向の黒潮町特産のせとか

黒潮町の特産柑橘「せとか」の出荷が2月7日、大方支所で始まりました。今年は大玉傾向で、同支所は昨年より2割程度多い6.5tの出荷量を見込んでいます。同町ふるさと納税の返礼品としても人気で、2月末までに全国に発送しました。

同支所は平成28年度から、返礼品として出荷を希望する農家や生産部会の農産物を自治体に供給しています。「せとか」は初年度から始め、今年は約1.3tの注文を受け付けました。

## 4 宿毛支所

### 協同組合連携でモミジ植樹



モミジの苗を植える児童とボランティア

宿毛市立山奈小学校と小筑紫小学校の4、5年生56人が2月4日、ボランティアのJAや漁協職員らと市内の日平農村公園に植樹しました。同市森林組合やすくも湾漁協、JAなどでつくる市農林漁業協同組合連絡協議会が、平成24年から毎年市内の児童らを招いて開いています。

植えたのは、高さ約50cmのモミジの苗150本。児童は自分の名札をくくり付けて成長を願いました。また、宿毛湾では多様な生物が育まれているなど、海や森林の大切さも学びました。

## 5 十和支所

### 鎮咳去痰薬セネガ検品・出荷



セネガを検品する薬品会社の職員ら

十和支所は2月13日、同支所流通センターで9戸から平成30年度産のセネガを受け入れました。取引先の薬品会社が、生産者ごとに乾燥具合や汚れの有無などを検品。同月18日に665kgを出荷しました。

セネガは根の部分が鎮咳去痰薬として利用され、医薬品の原料として安定的に需要があります。同支所は30年以上前から出荷取引があり、同年度産は四万十町と四万十市、三原村の計80アールで栽培されました。31年度は82アールで栽培予定です。

## 6 十和支所

### 児童が伝統野菜収穫&調理



収穫した「昔ダイコン」を手にする児童

四万十町立十川小学校の4年生6人が2月21日、昨秋校内の畑に種を播いて育てていた伝統野菜の「昔ダイコン」と「昔カブ」、「昔タカナ」の3種類を収穫し、煮物や酢の物、炒め物に調理しました。伝統野菜の栽培から調理までは、栽培農家や行政、JA職員らが協力しました。

同町大道地区に残る伝統野菜の種子を受け継ぐ取り組みの大切さを理解してもらったこと、3年前から始まった出前授業の一環、種とり用に残した昔カブと昔タカナの種は5月にとる予定です。

初心者（家庭菜園）向け

# 甘長トウガラシ を作ろう！

上手に栽培すれば、収穫期間が5～11月と長く楽しめる甘長トウガラシ。今、注目の品目の一つで、JA高知県では「土佐甘トウ」の名で出荷しています。

収穫時季に応じて管理しましょう。

栽培カレンダー

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月



●: 植え付け ■: 収穫

## ① 畑の準備

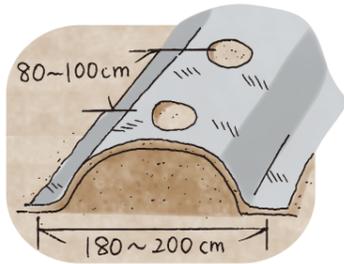
排水と日照条件が良く、耕土の深い畑を選びます。定植の1ヵ月以上前に、1㎡当たり1.5kgの切りワラなどの有機物、120～150gの苦土石灰を施用します。苦土石灰はpH6.0～6.5の範囲内で適量を施用しましょう。

定植の10～15日前に、元肥として有機1号ペレットを1㎡当たり250～300g施用します。

## ② 畝立て・マルチ張り

畝幅は180～200cm程度のかまぼこ型とし、排水路を確保します。

畝全体が乾燥している場合は灌水し、その後にシルバーマルチで被覆します。被覆することで地温を高め、初期生育を促進します。

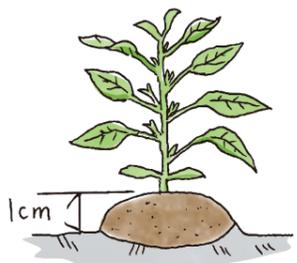


## ③ 植え付け

苗は若いものを選びます。定植前に苗に灌水し、植え傷みのないようにしておきましょう。

株間は80～100cmとします。前日に植え穴を掘って十分灌水し、支柱を立てて、畝面より1cm程度出して浅植えにします。第1分枝の向きが畝と平行になるように植え付けましょう。

定植後7～10日頃までは、土が乾燥しないように株元を中心に灌水し、活着を促します。



## ④ 整枝・誘引

第1分枝下の側枝は晴天時に早めに整枝します。枝は爪でえぐらず、折って取り除きます。

基本は4本仕立てです。活着後は主枝が垂れ下がらないうちに、4本の主枝を決めて誘引します。活着後は根を深く張らすため、灌水は控えめにいきましょう。



## ⑤ 収穫初め（定植後25日程度）の管理

主枝の誘引は樹勢の強弱によって調整します。弱い場合は早めに誘引糸を巻き付けて主枝を立てます。強い場合は巻き付けを遅らせ、やや寝かせて管理します。

樹勢を見ながら追肥を行います。1回の施肥量は、1㎡当たり千代田化成を7～10gです。以降、生育に応じて、1ヵ月に3～4回施用します。

## ⑥ 6～7月の管理

主枝は高さ1.4m程度で摘心します。側枝は7～8節で自然に退化するため、基本的に摘心せずに放任します。

以降、晴天続きには早朝の涼しい時間帯に灌水します。

## ⑦ 8～9月の管理

側枝、徒長枝の混み合う枝を間引きます。樹間内に光線が十分当たるように樹形を整えます。

## ⑧ 10～11月の管理

11月は追肥をせず、収穫中期と同じ管理に努めます。

# 役立つ！ 得する！ 情報 えいのう～

### 1. 利岡ファーム

地域：四万十市利岡  
設立：平成30年2月15日  
組合員数：14人  
形態：協業経営（水稲）

### 2. えいのうとみやま

地域：四万十市富山（大用、住次郎、小西ノ川、大西ノ川）  
設立：平成30年3月25日  
組合員数：9人  
形態：協業経営（水稲）・作業受託・ブッシュカン栽培

### 3. 津野川営農組合

地域：四万十市西土佐津野川  
設立：平成30年3月28日  
組合員数：19人  
形態：協業経営（水稲）

### 4. 上長谷集落営農組合

地域：三原村上長谷  
設立：平成30年12月2日  
組合員数：28人  
形態：協業経営（水稲）

### 5. 農事組合法人 平田の百姓屋

地域：宿毛市平田  
設立：平成30年12月4日  
組合員数：14人  
形態：協業経営（水稲）

近年、生産者の高齢化・後継者不足が進み、水田農業を取り巻く環境は厳しさを増しており、個人の力では集落全体の農地を維持管理していくことが困難になってきています。皆さんが住む集落の農地を守り、生産活動を維持していくためには、みんなの力を合わせて農地を守る仕組みづくり（集落営農）が必要になっていきます。

現在、幡多農業振興センター管内の集落営農組織数は58で、今回紹介した農事組合法人平田の百姓屋は、任意組織を経営する法人として組織設立しました。法人は、利益の繰り越し、減価償却など資金を組織内に貯めていくことや組織名義での資金借入れができ、有利に活用できる補助事業もあるため、任意組織と比較すると継続的な活動がしやすいと、安定した組織経営が期待できます。地域の生産基盤を維持・発展させるには、早

急な集落営農組織の設立に加工え、法人への移行が望まれます。また、農業者の高齢化などにより、集落の担い手が減少しつつあるなか、単独の組織では機械の十分な整備や労働力の確保ができない場合は、地域や組織同士が連携・協力することで、規模拡大・一層の低コスト・省力化・新たなオペレーターの確保などが期待できます。皆さんの集落でも、集落を守っていくために集落の枠を超えた集落営農に取り組んでみませんか。

# 集落営農組織が増えています

幡多農業振興センター 池川侑花  
(0880-3417070)



がいにビックリたまげた大会の様子

デカカボチャ  
栽培しませんか？

幡多地区の青壮年部は毎年9月、西土佐支所でカボチャの大きさを競う「がいにビックリたまげた大会」を開いています。カボチャの品種はアトランティックジャイアントで、大きく育つ飼料用です。大会への参加を希望する方には苗を無償配布しています。皆さんもデカカボチャを栽培し、大会に参加してみませんか？ たくさん副賞をご用意しています。

栽培のポイントとは、水不足に注意し、有機質肥料をたっぷり与えること。6月に定植します。4月末まで注文を受け付けています。

〔注文・問い合わせ先〕西土佐支所  
0880-5211256

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

毎回楽しみに読んでいます。私たちの食生活を支えてくれている方々の様子を知ることができ、子どもに食べ物の大切さを伝えることができます。ありがとうございます。



▼食育に役立っているようで嬉しいです。JAは食農教育にも取り組んでいるんですよ。  
(宿毛支所管内・34歳)

昨年3月で退職した夫が、年老いて世話ができなくなった母の畑を引き継いでいます。おかげで新鮮な野菜を食べることができ、幸せに思っています。  
(大方支所管内・58歳)

▼農産物は鮮度が一番ですものね。お母さまも喜んでいてと思います。  
(大正支所管内・72歳)

先日、テレビで有名な林先生が「協同組合」の特集をしていました。「今、世界が協同組合に注目している」と言っていました。私は農家ではありませんがJAを応援しています。  
(大正支所管内・72歳)

▼ありがとうございます。ユネスコがJAを含む協同組合を無形文化遺産に登録し、その価値が見直されていますね。

「こうぐり」に変わって、全然知らない遠くの地区のことが分かって良いです！7地区のリレーを楽しみにしています。  
(中村支所管内・66歳)

▼県内全域の情報を紹介できるようになったのは、JA統合のメリットの1つですね。

3歳になる孫がブロッコリーを大好きでよく購入します。生産者の方の紹介や共同選果の様子、料理レシピも紹介されていて、とても良かったです。  
(三原支所管内・71歳)

▼実際に調理された方から「おいしかった」と、感想のお便りもたくさん頂きました。

子牛が産まれて5カ月ほど経つと、鼻輪をつける作業があります。いつも寂しい気持ちになりますが、大人になる証だと言いつけています。  
(大月支所管内・16歳)

▼牛は鼻輪がついたまま産まれるわけではないのに、今まで意識していませんでした。「大人になる証」との考え方に感心！

西日本豪雨で被災した宿毛支所管内の文旦園地の整備に、職員の方々が頑張って汗を流したんだなあ！と感激しました。  
(中村支所管内・72歳)

▼これからも生産者の皆さんに寄り添うJAでありたいです。

## INFORMATION お知らせ



### 第12期あぐりスクール参加者募集

JA高知県幡多地区は、小学生を対象とした「あぐりスクール」(昨年までは「あぐりキッズクラブ」)を開講しています。子どもたちに様々な農業体験を通して「いのち・食べ物・農業の大切さ」を伝え、「自然・環境の尊さ」などを育てもらうために、今年は「収穫三昧」をテーマに、以下の体験をご用意しました。



- 第1回 5月25日(土) イチゴの収穫・田植え他
- 第2回 7月27日(土) ブルーベリーの収穫他
- 第3回 8月23日(金) トマトの収穫・ピザ作り他
- 第4回 9月28日(土) 梨の収穫・稲刈り他
- 第5回 10月26日(土) サツマイモの収穫・農高体験
- 第6回 12月14日(土) もちつき・記念品作り

- 参加料 年間 5,000円
- 対象 JA高知県幡多地区管内の小学新3～6年生
- 募集定員 30人 ※定員になり次第締切とします。
- 募集期間 2019年4月15日(月)～4月26日(金)

お申込みは、管内の全小学校に配布する申込書をお近くのJA支所にご提出いただくか、企画組合員課(0880-34-5555)までお電話ください。

## 平成31園芸年度 高知県園芸品展示品評会入賞者発表!

県とJA高知県が2月2～3日に高知市で開いた見出しの品評会に、野菜27品目368点、果実8品目127点、花き13品目129点の出品がありました。幡多地区の入賞者の皆さん、おめでとうございます!(敬称略)

- |        |                |         |           |
|--------|----------------|---------|-----------|
| 【野菜の部】 | 高知新聞社長賞        | ナバナ     | 杉本和子(西土佐) |
|        | 特別賞            | イチゴ     | 野口典久(宿毛)  |
|        | 優秀賞            | キュウリ    | 松田翔平(中村)  |
| 【花きの部】 | 高知新聞社長賞        | 宿根かすみ草  | 浜村博(大方)   |
|        | KUTVテレビ高知社長賞   | ダリア     | 上野和代(大方)  |
|        | 関西生花市場協同組合理事長賞 | デルフィニウム | 野並増巳(大方)  |

## 『とさのうと』冬春トマト号発刊

JAグループ高知の情報誌『とさのうと』最新号は3月発行の冬春トマト号です。今回は三原支所管内のユズ農家・岡村優良さんと佐賀支所管内の地産地消に取り組むレストラン・エルバをご紹介します。ぜひご覧ください。読者プレゼントのお申込締め切りは今月末です。お見逃しなく!



『とさのうと』はお近くの支所窓口やATM、直販所などに置いています。ご自由にお取りください。